

「モバイル 2.0 時代のコンテンツ市場の実態と展望」発刊のお知らせ
～ モバイル 2.0 関連市場における有力 CP の戦略分析と市場展望～

移動体通信・IT 専門の調査会社である株式会社エムシーエイ (<http://www.mca.co.jp/>) は、3 月 16 日に調査レポート「モバイル・コンテンツ市場要覧 2005 年度版～転換期のモバイル・コンテンツ市場における各 CP の戦略分析と市場分析」(価格:68,250 円/税込)を発刊しました。

「モバイル 2.0」と言われるモバイルのブロードバンド化によって、モバイルモバゲータウンに代表される勝手サイトが興隆し、注目を浴びています。これに対して、従来の公式サイトはかつての勢いを失っており、「従来の公式サイト・ビジネスはもう終わった」という声も聞こえます。確かに公式サイトの会員数は伸び悩んでいるし、着メロなど一部のコンテンツは市場が縮小しています。しかし、その代わりに着うたフルや電子書籍、デコメ - ルなど新たな市場が伸びており、市場全体の規模や個々の CP の売上高を見ると、公式サイトのコンテンツ市場は依然として成長を継続していると言えます。2007 年のモバイル・コンテンツ市場は、4,233 億円(MCF 調べ)と、対前年比 16%増を達成しました。CP 各社は、SNS と言った勝手サイトの手法を取り入れたり、勝手サイトとの連携を図ったりして、会員数を増やしています。さらには、動画配信、クロスメディア、広告、EC、モバイルソリューションなどの分野への展開を図っています。

本レポートでは、代表的なコンテンツ・プロバイダを 25 社選定し、その事業内容、実態および戦略を比較分析し、コンテンツ市場でのポジショニングを明らかにしました。

調査対象先

<携帯電話キャリア>

- NTTドコモ
- KDDI
- ソフトバンクモバイル

<モバイル・コンテンツ・プロバイダ>

- アイフリーク
- アエリア
- アクセルマーク
- イマジニア
- インデックス
- MTI
- ケイブ
- コムシード
- サイバード
- ザッパラス
- サミーネットワークス
- ジー・モード
- ジグノシステムジャパン
- ジョルダン
- スクウェア・エニックス
- ディー・エヌ・エー

- テレビ東京ブロードバンド
- ドワンゴ
- ナノメディア
- 日本エンタープライズ
- ハドソン
- バンダイネットワークス
- フォーサイド・ドット・コム
- fonfun
- メディア工房

調査結果抄録

- 一時期、モバイル業界の話題を席巻した「モバイル 2.0」。その時に「公式サイトモデルはもう終わった」という声上がり、携帯サイトは今後、勝手サイトが勢いを増し、公式サイトを圧倒していくと思われた。事実、「モバイル 2.0」の波に乗った「モバゲータウン」は、会員が急増。3年間で1,000万人を超える巨大SNSに成長した。
- 「モバイル 2.0」によって勝手サイトへのアクセスがどんどん増えていると思われるが、実際は違っている。iモードサイトのアクセス比率の推移を見ると、メニューサイトに対して確かに勝手サイトのアクセス比率は高い。しかし、時系列で見れば、勝手サイトのアクセス比率は逆に落ちている。キャリアポータルへの勝手サイト検索機能の提供以前と比べてもそうである。
- これは、フィルタリングサービスの影響など、様々な要因があるが、公式サイト自体の緩和とそれに伴う拡大といった要因が大きいと推定される。特に、巨大なPVを誇るSNSの公式化が影響していると思われる。
- 公式コンテンツ市場の有料会員数は、2004年度以降一桁台の伸びに止まっている。今回調査対象としたCPの中でもMTI、ザッパラス、アイフリーク、ジョルダンと言った一部のCPを除けば、有料会員数は横ばいか減少傾向にある。
- しかし、CP各社のモバイル・コンテンツの売上高は、2007年度には横ばいになったが、2006年度までは2桁台の高い成長率を見せた。
- この背景には、着うたフル、ゲーム、占い等のリッチコンテンツ化がARPUを引き上げている点が挙げられる。
- コンテンツのARPUの上昇は2007年度で止まり、2008年度も横ばいが見込まれなから、各CPは経営的にいよいよ難しい舵取りが求められる。
- 一方、キャリア側から見れば、公式コンテンツのサイト数とアクセス数は順調に伸び、それに伴い、コンテンツの売上高も2桁台の高い成長を続けてきた。2008年度も2桁成長を維持できそうだ。

表 1 主な CP 各社のモバイルコンテンツ売上高の推移（国内 単位：百万円）

	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度
アイフリーク	121	391	1,400	1,789
アエリア	337	458	552	270
アクセルマーク	270	492	922	1,336
イマジニア	2,510	3,312	3,839	3,868
インデックス	7,325	8,716	11,954	30,336
MTI	5,954	9,915	13,593	17,595
ケイブ	1,356	1,426	1,311	1,238
コムシード	766	804	1,260	1,272
サイバード	8,240	10,808	12,047	12,400
ザッパラス	2,929	4,016	5,142	6,509
サミーネットワークス	5,005	5,363	6,076	5,309
ジー・モード	3,430	3,371	4,243	4,394
ジグノシステムジャパン	3,870	3,296	2,880	2,767
ジョルダン	376	668	924	1,119
スクウェア・エニックス	4,557	5,067	7,767	6,579
DeNA	398	2,793	9,013	23,637
テレビ東京ブロードバンド	1,855	2,459	2,376	2,098
ドワンゴ	16,236	17,554	16,360	15,217
ナノメディア	1,858	2,237	2,638	1,693
日本エンタープライズ	2,107	2,507	2,394	1,763
ハドソン	5,561	7,572	8,058	7,613
バンダイネットワークス	7,760	7,740	7,140	7,000
フォーサイド・ドット・コム	6,862	25,873	39,921	9,632
fonfun	932	1,034	1,042	954
メディア工房	83	305	438	616
合計	90,698	128,177	163,290	167,004
対前年比	-	41.3%	27.4%	2.3%
合計(3社を除く)(注1)	76,113	90,795	102,402	103,399
対前年比		19.3%	12.8%	1.0%

(注1) インデックス、DeNA、フォーサイド・ドット・コムの3社の売上高を除いた合計

インデックスは、ソリューション事業を含む

DeNA はモバゲータウンの売上高

フォーサイド・ドット・コムは海外の売上高を含む

(出典:MCA 調べ)

図 1 主要コンテンツ・プロバイダの有料会員数の推移（単位：千人）

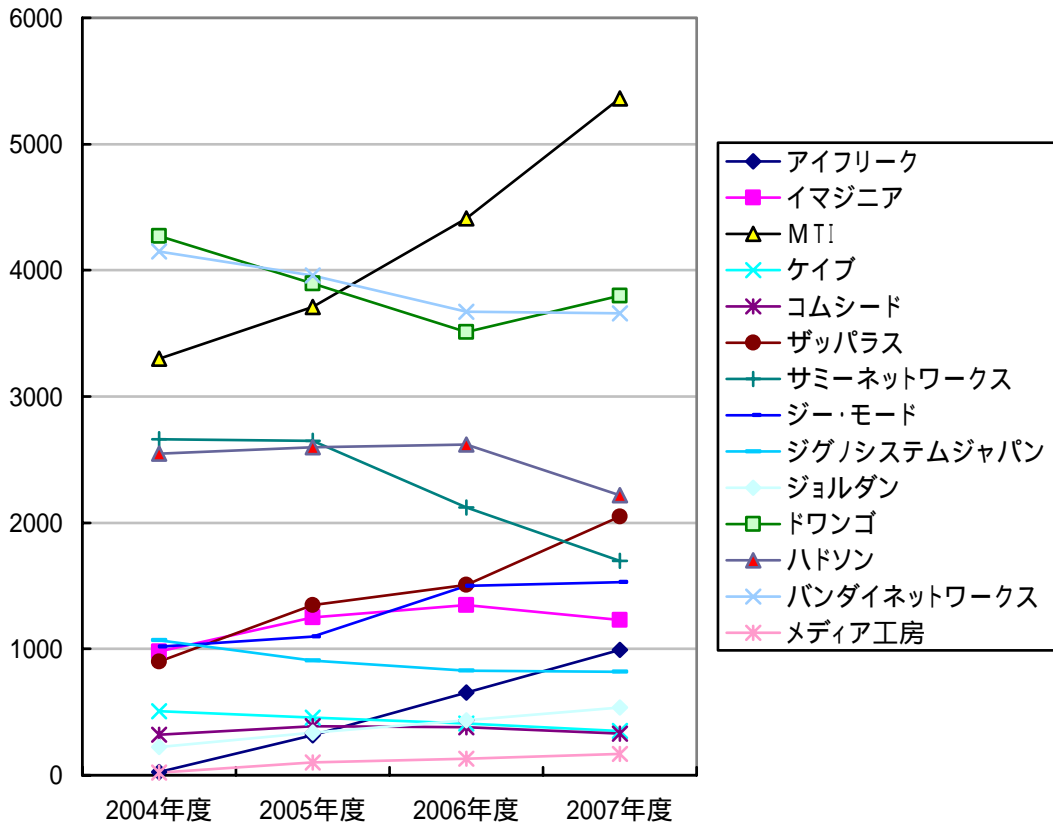
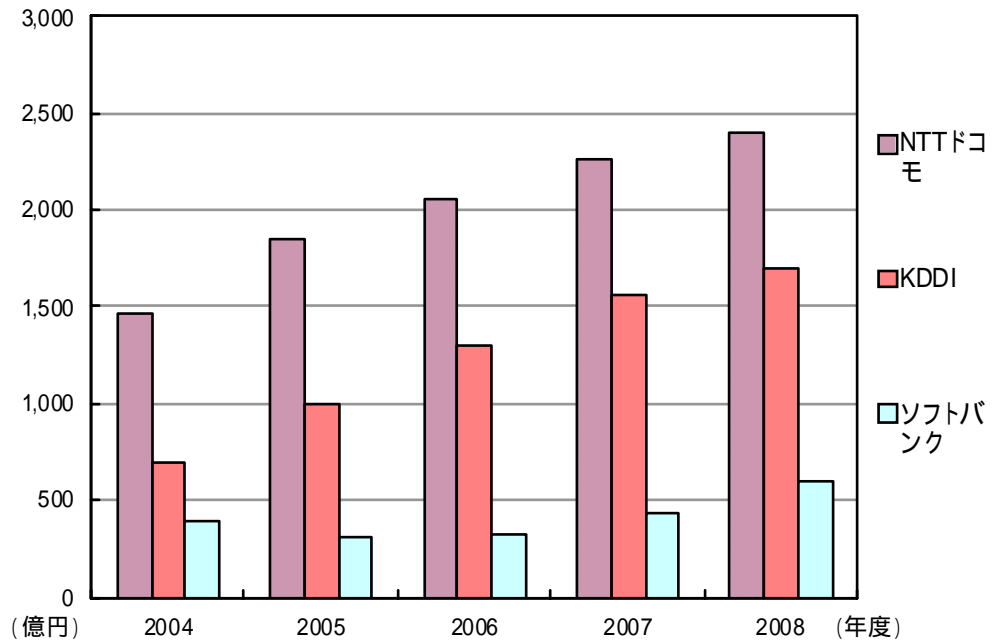


図 エラー！ 指定したスタイルは使われていません。-2 各キャリア別コンテンツ市場規模推移



調査資料の詳細

発行日:2009年3月

判型:A4コピー刷り製本・266頁

発行・販売:株式会社エムシーエイ

〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-30 ファースト日野ビル4F

TEL:03-5928-5925/FAX:03-5928-5921

URL:<http://www.mca.co.jp> E-mail:info@mca.co.jp

頒価:68,250円(税込)

調査期間:2008年9月~2009年1月

資料の問い合わせ先

株式会社MCA(<http://www.mca.co.jp/>)

齋藤(saito@mca.co.jp)

Tel:048-813-7395 Fax:048-813-7399